学校番号	２０２

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ｃ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「新編　数学Ｃ」（数研出版）						
副教材等	「チャート式 解放と演習　数学Ⅲ＋Ｃ」（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、主体的に考え、学習に取り組む活動を行います。
・授業の後には必ず復習を行い、学習内容をしっかり習得できるようにしてください。また、疑問が残るところを放置せず、必ず理解できるまで、学習を続けてください。
・授業用ノートと問題集用ノートを用意してください。
・問題集の問題をまず自分で解いてみましょう。途中式や考え方も書くようにしましょう。解答後は各自答え合わせをしてください。答え合わせは、自分がどこでつまずいたかを知るための大切なものです。
・家庭学習における課題は、定期的に提出してもらいます。
・定期的に、達成度を見るための小テストを実施します。

２　学習の到達目標

平面・空間のベクトル、複素数平面、式と曲線についての理解を深め、知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用する態度を育成します。
（１）平面・空間のベクトル、複素数平面、式と曲線についての基本的な概念や原理や法則を理解し、事象を数学的に捉え、表現、処理する技能を身に付ける。
（２）数式、グラフ、図形などの関係を理解し、事象を数学的な考え方で分析したり、表現したりする。
（３）数学的な考え方のよさに気づき、自らの思考過程を振り返りながら、粘り強く問題解決に取り組む。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	ベクトル、平面上の直線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的に解釈したり、表現・処理したりする知能を身に着けるようにする。	大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学の良さを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	ベクトルとその演算	ベクトル ベクトルの演算 ベクトルの成分 ベクトルの内積	a:ベクトルやその演算の定義を理解し、計算できる。 b:ベクトルの演算の定義をもとに、ベクトルの図示ができる。また内積の性質を用いて、等式の証明をしたり、ベクトルの大きさなす角を求めることができる。 c:ベクトルの演算に興味を持ち、数式との類似点を考察する。内積で三角形の面積が求められることに興味を持ち、問題解決に利用しようとする。	定期考査 問題集 ノート	定期考査 問題集 ノート	観察 ワーク シート
	ベクトルと平面図形	位置ベクトル ベクトルの図形への応用 図形のベクトルによる表示	a:点の位置を、基準となる点と1つのベクトルを用いて表すことができることを理解し、内分点、外分点などを、位置ベクトルを用いて求めることができる。 b:位置ベクトルの性質を活用して、様々な図形の証明ができる。 c:ベクトルを活用して、様々な図形の考察をすることができる、	定期考査 問題集 ノート	定期考査 問題集 ノート	観察 ワーク シート
2学期	空間のベクトル	空間の点 空間のベクトル ベクトルの成分 ベクトルの内積 ベクトルの図形への応用 座標空間における図形	a:空間における点の表し方を理解し、原点に関して対称な点の座標や、原点との距離などを求めることができる。 空間図形において、ベクトルの演算を考えることができる。 b:空間ベクトルが 3 つのベクトルの和で 1 通りに表される理由について、平面上のベクトルが2つのベクトルの和で 1 通りに表されることから説明できる。 c:座標空間における点の表し方を、座標平面における点の表し方の拡張としてとらえようとする。	定期考査 問題集 ノート	定期考査 問題集 ノート	観察 ワーク シート

	複素数平面	複素数平面 複素数の極形式 ド・モアブルの定理 複素数と図形	a:1つの複素数が複素数平面上で1つの点を表すことを理解し、複素数平面上に表すことができる。 複素数の演算を理解し、計算することができる。 ド・モアブルの定理を理解し、n乗を求めることができる。 b:複素数の演算の複素数平面における図形的意味を理解する。 c:複素数平面の定義から、複素数の演算が何を意味するかを考察しようとする。	定期考査 問題集 ノート	定期考査 問題集 ノート	観察 ワーク シート
3学期	2次曲線	放物線 楕円 双曲線 2次曲線の平行移動 2次曲線と直線	a:放物線、楕円、双曲線の標準形について理解し、概形を書くことができる。 また、条件からその方程式を求めることができる。 b:軌跡の考え方を用いて、方程式を導くことができる。 c:既知の円や放物線などの曲線を、条件を満たす点の軌跡としてとらえなおそうとする。	定期考査 問題集 ノート	定期考査 問題集 ノート	観察 ワーク シート
	媒介変数表示と極座標	曲線の媒介変数表示 極座標と極方程式 コンピューターの利用	a:曲線が媒介変数を用いて表される仕組みを理解し、曲線の方程式を求めることができる。 b:条件から点の座標を 1 つの文字であらわし、それを曲線の媒介変数表示ととらえることで、その点が描く曲線を求めることができる。 c:曲線の媒介変数表示について、具体的に点を取っていくことで、どのような曲線か考察する。	定期考査 問題集 ノート	定期考査 問題集 ノート	観察 ワーク シート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度